

●市長の政策進捗状況

[5段階 自己評価 ●5 達成 / 4 概ね達成 / 3 半分達成 / 2 少し達成 / 1 全く未達成]

分野	項目	取組状況(令和6年7月)	自己評価
若い世代が 魅力を感じる 子育てしやすく 住みよいまち	●玉野医療センターの産科、小児科の充実	▶小児科の充実、出産時のタクシー助成	2
	●満1才までの在宅育児手当	▶令和6年度から実施	5
	●若者の出会いの機会創出、結婚支援金	▶結婚支援金の充実	3
	●子どもの遊び場整備	▶子ども施策の中で検討中	1
	●子どもの貧困対策	▶玉野市子どもまんなか宣言で機運醸成	2
	●市内どこでも平等に教育を受けられる環境整備	▶学校規模適正化の検討を開始	2
	●外国人指導助手(ALT)配置、英語教育強化	▶令和5年度から配置	5
	●玉野の住みよさPR、移住支援策強化、転入超過へ	▶地域おこし協力隊によるPR等強化	3
いつまでも 安心して 住み続けられるまち	●市民センターの機能見直し	▶巡回方式でセンターで証明書発行	4
	●地域包括ケアシステムの充実	▶計画の中で推進	2
	●健康づくり、歯科検診などで健康寿命延伸へ	▶検診の一部無料化、遺伝子検査実施など	4
	●障害者の就労、文化活動等支援	▶イベント参加や意見聴取実施	2
	●高齢者の視点に立った地域公共交通の改善	▶シーバスのルート等見直し	3
	●地域防災、空き家利活用、買い物難民など課題解決	▶防災倉庫設置、空き家利用促進の補助	2
	●SDGsの取り組み強化	▶総合計画の中で施策を推進	3
地域の活力を 高める 産業振興と 観光の魅力向上	●企業誘致、IT企業などのサテライトオフィス誘致	▶パワーX誘致、ワーケーション推進	3
	●地域産業の育成支援、雇用創出	▶燃料費高騰対策等の実施	3
	●地域内で経済が循環する取り組み	▶マリンカードの利用促進の支援	3
	●宇野港、渋川、深山公園などの観光PR、回遊性強化	▶瀬戸芸に合わせた観光PRの強化	3
	●自転車のまちづくりでサイクリングステーションなど	▶サイクリングマップ作成など	3
	●道路整備や高松への直行航路開設の要望	▶国への要望を継続	3
	●ののちゃんによるPR強化	▶イベントへの参加、海ごみPR大使	3
心豊かに暮らせる 文化を感じるまち	●子どもから大人まで楽しめる玉野芸術祭(仮称)	▶文化振興体制を強化	2
	●新市民会館の建設	▶情報収集、検討を開始	2
	●歴史遺産の保存、伝統文化継承	▶総合計画に位置づけ	2
	●気軽にスポーツできる環境整備	▶スポーツ振興の体制強化	2
市民が信頼できる 情報公開と行財政改革	●市民目線の情報公開、地域の対話集会	▶対話集会、まちかどトーク実施	4
	●行政改革とふるさと納税で財政健全化	▶行革大綱の推進、ふるさと納税増加	3
	●女性の活躍を推進	▶女性管理職の登用	3

誠実に、丁寧に取り組んで、 見えてきた新たな展望。

美しい自然と温暖な気候に恵まれた玉野市を再び活力あるまちにしたいとの思いで市長に就任して3年、まずは子育て支援や教育の充実など子どもや若い世代に向けた施策を重点としながら、すべての世代が安心して暮らせるまちづくりに誠実に、丁寧に取り組んできました。

この間、地域経済を支える造船業は事業再編を経て順調に業績を回復し、将来有望な新たな企業が進出するなど追い風もあり、観光面でも宇野港周辺が瀬戸内のアートの島へのゲートウェイとして注目が高まるなど、好循環につながる兆しが見えてまいりました。

一方、少子高齢化をはじめ、企業の人手不足、公共施設の老朽化、小中学校の再編、イノシシ被害など様々な課題が山積しています。これらを先送りすることなく、責任をもって解決につなげていくことが市政の大切な役割です。

さらには、デジタル化への対応、脱炭素社会へのシフトなど社会経済の大きな潮流の中で、市民が希望と誇りを持って暮らし続けられるような前向きな投資も必要です。

そのためには、市民や企業、各種団体が力を合わせて、オール玉野で取り組んでいかななくてはなりません。これからも皆様の声に耳を傾けながら全力で市政に取り組んでまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

玉野市長 **柴田 義朗**

玉野、再始動。



Profile 柴田 義朗 ●プロフィール

- 昭和36年 ●玉野市築港生まれ
玉野市立築港小学校、宇野中学校、
県立玉野高等学校を卒業
- 昭和59年 ●中央大学法学部卒業、岡山県庁に入庁
総務学事課総括参事、中山間・地域振興
課長、子ども未来課長等を歴任
- 平成30年 ●福祉政策企画監
- 令和元年 ●保健福祉部次長
- 令和2年 ●岡山県立大学副理事長兼事務局長
- 令和3年 ●玉野市長に就任



柴田よしろう後援会事務所

〒706-0002
玉野市築港2丁目1番11号 ダテビル 3F
Tel&Fax 0863-31-0303



■SNS発信中!

●後援会公式サイト [柴田よしろう 玉野](#) 検索

討議資料 令和6年9月発行

しばた 柴田 よしろう

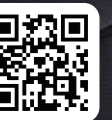


Shibata
Yoshirou

<https://shibata-yoshirou.com>

柴田よしろう後援会 会報

Vol.3 [2024 秋]





玉野高校での講演会



赤ちゃん登校日



玉野市こどもまんなか宣言

安心して 住み続けられる まち

市民の健康増進につなげるため、玉野医療センターや岡山大学、民間事業者と連携し遺伝子検査を活用した取り組みを行います。

また、交通基盤の充実のためシーバスの運賃見直しとともに、市内路などにより利用促進を図ります。さらに経済的理由等で移動が困難な高齢者へタクシーチケットを支給しています。

地域防災力を高めるため、高齢者や障害者など自力で避難が困難な方の個別避難計画の策定を進めています。

カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みを行う「脱炭素推進係」を設置し、電気自動車等の購入を補助する脱炭素推進補助金を創設しました。



岡大等と遺伝子検査連携協定締結式



市町村広域災害ネットワーク首長会議

子育て・教育の充実

子ども医療費無償化の対象年齢拡大(18才まで)や、玉野医療センターの小児科の充実に加えて、令和6年度は子育てサービスの申請や相談をワンストップで行える「こどもみらい課」を設置し、子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会の実現を目指す「玉野市こどもまんなか宣言」を行いました。

また、1才まで在宅で育児する家庭に在宅育児手当を支給し、子育て情報の提供、健診記録などが行える「たまの子育てアプリ」の機能を強化します。

教育面では、外国人英語指導助手の配置に加え、令和6年度は学力向上を図るため、小中学校にAI型デジタルドリルを導入しました。また、公平で適正な教育環境を整備するため、小中学校の適正規模・適正配置計画の策定を始めました。

ふるさと玉野のため、 精力的に、 幅広い活動を。

初当選から3年、
3年目の歩みをご紹介します。
今後も初心を忘れず、
前進してまいります。



文化を感じるまち

芸術・文化活動等を行う市民会館などの拠点施設の整備に向けて、先進事例等の調査・研究を行い、本市にふさわしい施設の検討を進めています。

本市の歴史をテーマとした冊子「玉野人」を発行し、市内各地の歴史や文化の資源にスポットをあて、シティプロモーションの一助としています。



鳥人幸吉、まちづくりフェア「Hachinama」



春期少年野球大会始球式



常山女軍供養祭

情報公開と 行財政改革

持続可能な行財政運営のため、市税の収納率向上やふるさと納税の拡大などの取り組みを進めるとともに、地域や各種団体に向いて対話集会等を開催し、市民の声を市政に活かしています。

また、活力ある地域づくりを進めるため、地域で活動する団体と行政をつなぐ中間支援組織との連携を強化するとともに、都市部から市内へ移住して活動する地域おこし協力隊を導入し、移住・定住と観光振興の推進体制を強化しました。

現在の市役所本庁舎が老朽化し耐震性もないため、新庁舎整備に着手しました。便利で使い勝手がよく市民や職員が誇りを持てるスタイリッシュな庁舎を整備します。



対話集会



ネーミングライツ協定



本庁舎完成イメージ

産業振興と観光の魅力向上

大都市圏のIT企業等に向けたワーケーションツアーを実施するとともに、市内企業への就職を促進する「たまの企業ガイド」の情報発信や、都市部の副業人材とのマッチング支援を行いました。

観光面では、宇野港田井地区に進出したパワーX社と連携し、同社の蓄電池工場を中心に「アートと産業観光を核とした玉野市観光ルネサンス構想」を打ち出し、瀬戸内国際芸術祭に向けた観光の魅力づくりを進めています。

また、市観光大使のナ酒渚さんと市内高校生が共同で作成した動画やサイクリングマップを活用して自転車のまちをPRするとともに、国立公園指定90周年を迎えた瀬戸内海の魅力をアピールしました。



瀬戸内海国立公園指定90周年記念式典



クルーズ船(オイローバ)入港歓迎式



副業人材活用推進事業協定締結式

今後の重点的な取り組み

持続可能で魅力ある玉野市にするため、これからも次のようなことに重点を置いて取り組みます。

- 少子化対策と子育て環境のさらなる充実
- 安心して暮らせる地域づくり
- 地域の活力を高める産業振興
- 新生宇野港など観光の魅力づくり
- 芸術・文化・スポーツの振興と拠点づくり



玉野、 再始動。

TAMANO Sai-Shido.